

広報

Yamanobe Public Relations

やまのべ

みんながつながる 協働のまち やまのべ
～未来につながる 自慢のまち～

4
2020

No. 757



思い出を胸に巣立ちの春

▲ 町立小・中学校で、3月16日から18日にかけて卒業証書授与式が行われました。

※写真は山辺小学校卒業証書授与式

(関連記事…15ページ)

携帯サイト

モバイルやまのべ町

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/mobile/>



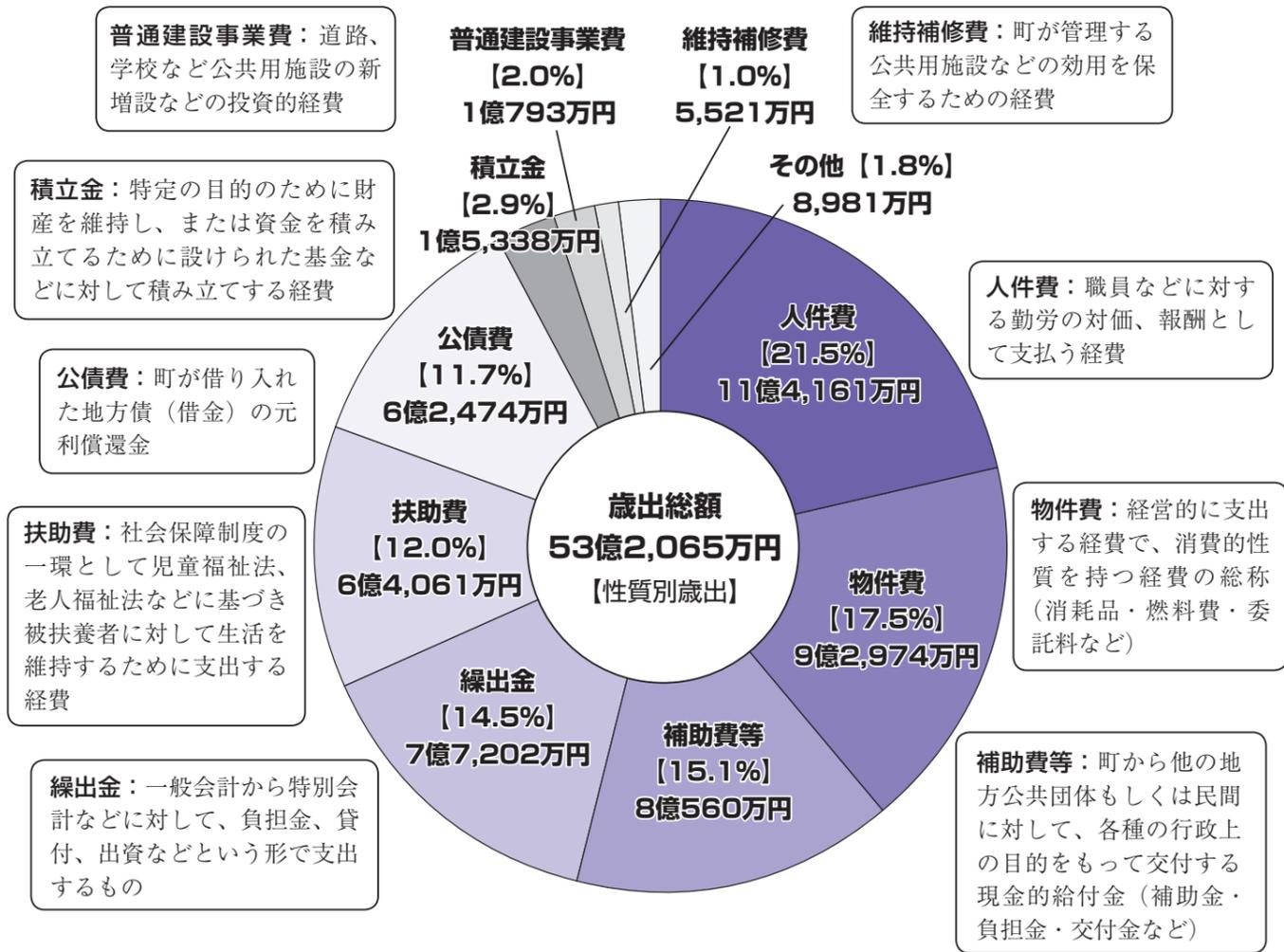
令和2年度 当初予算

一般会計予算

53億2,065万円

(前年度比 +0.4%)

【性質別歳出】

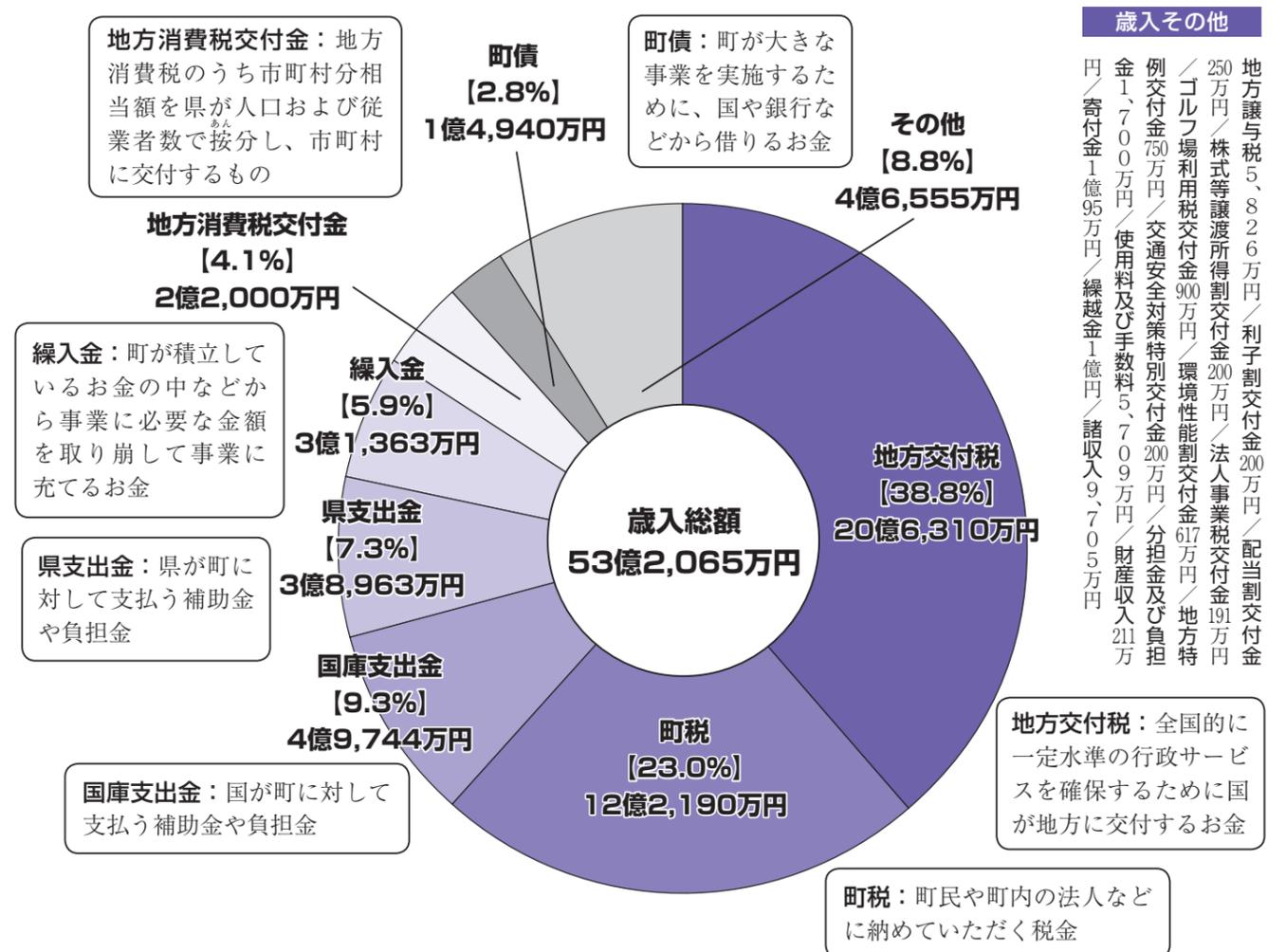


(性質別歳出その他) 災害復旧費 332万円/貸付金 6,450万円/予備費 2,199万円

一般会計予算額の推移(当初)



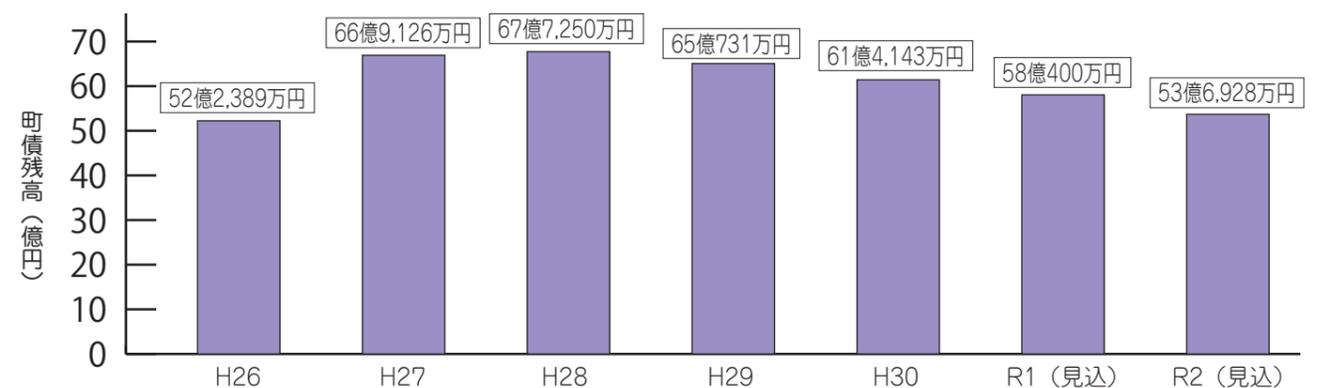
【歳入】



歳入その他

地方譲与税5,826万円/利子割交付金200万円/配当割交付金250万円/株式等譲渡所得割交付金200万円/法人事業税交付金191万円/ゴルフ場利用税交付金900万円/環境性能割交付金617万円/地方特例交付金750万円/交通安全対策特別交付金200万円/分担金及び負担金1,700万円/使用料及び手数料5,709万円/財産収入211万円/寄付金1億95万円/繰越金1億円/諸収入9,705万円

一般会計町債残高推移



人と自然が共生する資源循環型のまち（「自然環境・エネルギー」など）

- ◇山辺温泉保養センター運営事業 3,586万円
温泉施設の建物・機械設備の整備を実施し、利用者の利便性とサービスの向上を図ります。
・管理業務委託料 714万円
- ◇ごみ処理事業 5,496万円
日常生活から排出される廃棄物を適切に収集処理し、生活環境の保全を図ります。
・ごみ収集運搬委託料 4,130万円
- ◇ごみ減量化対策事業 266万円
古紙類を回収するとともに生ごみの堆肥化を推進し、ごみの減量化を図ります。
・古紙類等リサイクル推進事業委託料 161万円
- ◇山形広域環境事務組合事業 1億964万円
2市2町による廃棄物処理事業、特に広域ごみ処理施設建設事業の促進を図ります。
・山形広域環境事務組合負担金 1億964万円

実効性のある行財政の推進（「町民に開かれた行政・行財政運営」など）

- ◇住民基本台帳事務事業 1,300万円
市町村の区域を越えた住民サービスの向上と行政事務の簡素化および効率化を図ります。
・通知カード・個人番号カード負担金 851万円
- ◇ふるさと応援事業 1億5,890万円
ふるさと納税制度により、広く寄付を募り、これらを活用して各種事業の推進を図ります。
・ふるさと納税事業支援サービス委託料 5,761万円
- ◇財政管理事業 3,056万円
一般財源の確保に努め、単独事業における起債借入の縮小と健全な事業の執行を図ります。
・公共施設等再生整備基金積立金 3,000万円
- ◇財産管理事業 2,205万円
公有財産の維持管理、公共施設などの個別施設計画の策定を行います。
・公共施設等個別施設計画策定業務 748万円

令和元年度からの繰越事業

令和元年度内に完了しなかった事業は、令和2年度に予算を繰り越して事業を行います。

事業名	繰越金額
担い手確保・経営強化支援事業	895万円
道路橋梁災害復旧事業	627万円
大藤の棚田災害復旧事業	400万円

特別会計

特別会計は、特定の事業に使われるもので、一般会計とは別にお金を出し入れしています。特別会計で行う事業は、次の3つがあります。

会計名	内容	予算額
国民健康保険特別会計	国民健康保険を運営する会計	14億9,572万円（+0.4%）
介護保険特別会計	介護保険を運営する会計	16億6,354万円（+1.0%）
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療制度のための会計	1億7,370万円（+9.9%）

企業会計

令和2年度より官庁会計から企業会計へ移行します。企業会計は独立採算を原則とするもので、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計があります。今後も快適な生活と環境を支える事業として、施設の更新投資と持続可能な経営の両立に取り組んでいきます。

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
簡易水道事業会計	3,824万円	5,076万円	0万円	134万円
公共下水道事業会計	3億4,976万円	3億6,265万円	2億6,899万円	3億4,366万円

《第5次山辺町総合計画に沿って、令和2年度当初予算の主な事業を紹介します》

一人ひとりの充実した暮らしを育むまち（「コミュニティ・保健・医療・子育て」など）

- ◇地域コミュニティ推進事業 1,825万円
町内会やブロック協議会などの地域コミュニティ活動の支援を行い、地域コミュニティの推進を図ります。
・みんながつながる地域コミュニティ事業補助金 428万円
- ◇障がい者総合支援事業 2億1,786万円
障がいのある方がその能力、環境に応じて必要な福祉サービスが受けられるよう取り組んでいきます。
・介護給付費・訓練等給付費 1億9,831万円
- ◇障害児通所支援事業 6,649万円
障がい児にとって身近な地域で、状況にあった効果的なサービスを受けられるよう支援を行います。
・障害児通所給付費 6,629万円
- ◇子育て支援医療給付事業 6,550万円
乳幼児、児童などの医療を確保し、各医療保険の自己負担額を負担することで、その軽減を図ります。
・子育て支援医療給付費 6,287万円
- ◇放課後児童クラブ推進事業 1,336万円
町内私立幼稚園に運営を委託し、放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保を図ります。
・放課後児童クラブ委託料 1,279万円
- ◇予防事業 3,488万円
定期予防接種を確実に接種するよう支援強化を行い、疾病予防につなげ、健康の保持増進を図ります。
・各種予防接種委託料 3,420万円

学び合う文化が息づくまち（「学校教育・生涯学習」など）

- ◇学校支援地域本部事業 120万円
中学校に地域コーディネーターを配置し、地域や企業との連絡調整を図り、教員の負担軽減を推進します。
・地域コーディネーター活動謝礼 108万円
- ◇やまのべみんなのセミナー-Taiken堂開設事業 160万円
誰もが参加できる知的好奇心探究セミナーを年間8回～9回の開催を目標として、事業の充実に取り組みます。
・Taiken堂運営委員会補助金 160万円
- ◇教育委員会事務局事業 1,473万円
教育委員会の事務局の円滑な運営に努め、関係機関・団体に対する支援を図ります。
・山辺町立学校長寿命化計画策定業務委託料 660万円
- ◇体育・スポーツ振興事業 404万円
地域活動の活性化を目的とするスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。
・バスケットボールフェスティバル開催補助金 80万円

安全で安心して暮らせるまち（「防災・危機管理」など）

- ◇常備消防活動事業 2億1,227万円
山形市との消防事務委託により、災害の大規模化と多様化に対応した住民サービスの向上を図ります。
・消防事務委託料 2億1,192万円
- ◇道路・橋梁の維持管理事業 9,270万円
道路を常時良好な状態に保全管理し、適切な維持補修の推進を図ります。
・橋梁定期点検委託料 1,790万円
- ◇危機管理一般管理事業 504万円
災害時における職員への連絡体制の確立と住民の安心・安全に寄与します。
・防災マップ改定業務委託料 416万円
- ◇移住・定住促進事業 541万円
空き家バンクや県と連携した奨学金支援を行い、定住促進および地域の活性化を図ります。
・タイムカプセル掘出工事費 55万円

活発な産業活動を推進するまち（「商工業振興・農林水産業振興」など）

- ◇園芸振興対策事業 251万円
町内園芸全般の産地間競争の基盤と経営の安定化を図ります。
・園芸産地化支援事業補助金 150万円
- ◇担い手育成支援事業 604万円
農業関係機関・団体との連携により、新たな担い手の育成支援に取り組めます。
・農業次世代人材投資事業補助金 375万円
- ◇有害鳥獣被害対策事業 353万円
野生鳥獣による被害状況を把握し、農業活動の維持ならびに地域住民の生活環境の確保を図ります。
・有害鳥獣駆除活動者拡大支援事業補助金 85万円
- ◇観光協会支援事業 729万円
観光名所や特産物のPR、観光資源の保全整備により町の知名度の高揚と誘客を図ります。
・山辺町観光協会補助金 729万円

行財政改革の取り組みについて

《問合せ》 政策推進課 行革推進係 ☎（607）1110



町の人口が減少していく中、行政ニーズは年々、高度化・多様化しており、子育て支援、医療・介護などの社会保障関係費の増加、そして消防事務委託、ごみ処理の広域的事業に係る負担などの支出が膨らんでいます。一方、収入の根幹である町税が伸び悩み、地方交付税も減少が見込まれています。

このような中、ふるさと納税の推進、町有地売却などによる財源確保、そして事務事業の見直しや精査、平準化などを通して後年度負担の軽減を図りながら、限られた財源の効率的な活用が強く求められています。

将来にわたり持続可能なまちづくりをより強固なものとしていくため、平成31（令和元）年度の行財政改革では、次のような取り組みを進めました。

3 平成31（令和元）年度における主な取り組み

昨年度における行財政改革推進の主な取り組みは次のとおりです。

【町民と行政の協働関係の推進】

- ◇ ブロック協議会助成金制度の見直し
⇒助成金の内容を見直し、特に地域課題解決への取り組み強化を促していきます。

【継続的な行財政改革の推進】

- ◇ 窓口業務の見直し
⇒延長窓口を試行的に週1回（毎週火曜日）に集約して実施します。
- ◇ 子育て広場開設施設の見直し
⇒中央公民館と大寺公民館分を保育所での実施に移行。あわせて内容の充実を図ります。
- ◇ 備品管理システムを活用した経費縮減
⇒システム活用による備品残高を把握し、適正な備品管理を行います。
- ◇ 玉虫沼農村公園の指定管理者制度活用の見直し
⇒指定管理者制度導入の有用性を検証しました。
- ◇ 旧玉虫沼野営場屋外トイレの統合
⇒玉虫沼周辺にあるトイレの適正配置のために統合しました。
- ◇ 観光案内所運営方法の変更
⇒観光案内業務の集約化と機能充実を図るため、ふるさと交流センター内に観光案内所を移しました。
- ◇ 町防犯灯の適正配置（整理・統合）
⇒防犯灯の適正配置を図るため、整理・統合を実施していきます。
- ◇ 「連携中枢都市圏」への移行
⇒圏域全体の経済成長のけん引などに関わる33の連携事業について検討、協議を進め、4月に新しい広域連携として「連携中枢都市圏」へ移行しました。

【自主財源の確保および受益と負担の適正化】

- ◇ ふるさと応援寄附制度の運営体制の見直し
⇒運営費用の見直しや寄附者を増やすための取り組みにより、自主財源の確保と地域経済の活性化を図っていきます。
- ◇ 介護予防教室参加料の見直し
⇒参加料の適正化について見直しを行いました。

1 町民への説明・情報発信

行財政改革をみなさんと協働で進めるための説明と情報発信に努めました。

- ◇ 町政懇談会での説明・意見交換（6会場、延べ98人参加）
- ◇ 町ホームページ、広報紙による発信



▶ 昨年度開催した中央公民館での町政懇談会の様子（11月8日）

2 実効性を高める取り組み

町の仕事を検証、評価しながら、向こう3カ年の事業計画と連動させて、行財政改革推進の加速化と実効性を高める取り組みを行いました。

- ◇ 事務事業評価による検証・評価と3カ年実施計画との連動を強化
- ◇ 3カ年実施計画による後年度負担の軽減と事業の平準化による計画性の確保

成果とこれからの取り組み

行財政改革推進の指針である「第3次行財政改革大綱」に基づき、事務事業の評価、検証、改善のサイクルを強化しながら、各種事業の見直し、人件費の削減、中央公園内施設への指定管理者制導入などに取り組み、3カ年実施計画による事業の平準化を図りながら歳出抑制に努めてきました。

その成果として、昨年度から「公共施設等再生整備基金」の積み立てを行っており、学校や公民館などの施設更新、解体などへの財源確保につなげていきます。

引き続き事務事業の「ミエ、ムダ、ムラの解消」、「効率化、合理化」を進め、より実効性の高い取り組みを進めていきます。あわせて、住民との協働による地域づくり、職員の人材育成、自主財源の確保策などにより、行政サービスの一層の充実に努めていきます。

今年度は「第3次行財政改革大綱」の最終年度となり、この大綱の評価、検証を行いながら、みなさんとの協働の取り組みによる「未来につながるまちづくり」を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

第2期やまのべ総合戦略 【計画期間：令和2年度～6年度】

『総合戦略』とは、少子高齢化や人口減少が進行する中、“町の独自性を生かし魅力を引き出すとともに、活力ある地域を創り出す”ために、「子どもと育つ町」「高品質で町づくり」を大方針とした、今後5年間の町の目標や具体的な施策などをまとめたものです。

人口ビジョンで定めた目標人口“10,500人”を達成するため、町では4つの分野において、2つの大方針と基本目標を掲げて引き続き取り組んでいきます。

★多文化共生社会の実現
★Society5.0の実現に向けた技術の活用など

(※1) サイバー（仮想）空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会です。

	大方針 子どもと育つ町	大方針 高品質で町づくり
雇用をつくる	<p>◆基本目標① しごとと家族をともに大事にする雇用の実現</p> <p>a 「子育てしながら働きたい」ひとのしごとをつくる b 子育てしやすい労働環境の形成</p>	<p>◆基本目標② 高い技術と県都近郊のメリットを生かす活性化</p> <p>a 高品質な産品・技術を生かした雇用の創出 b 日帰り圏であることを生かした観光・交流の増加 c 地域内での産業の循環を支援</p>
ひとの流れ（移住）	<p>◆基本目標① 子育て世代や地縁血縁者を中心とした移住支援</p> <p>a 子育て世帯をターゲットとした移住支援 b 三世帯同居・近居の促進など地縁血縁を生かした移住支援</p>	<p>◆基本目標② 良質な地域資源を味わうひとの流れの創出</p> <p>a 都市の近くで自然を味わえる暮らしの実現 b 本町の魅力を伝える効果的な情報発信</p>
結婚・出産・子育て	<p>◆基本目標① 家庭での子育てを軸としたあらゆるサポートの提供</p> <p>a 子育て支援機能の充実 b 量の確保に留まらず、一人ひとりを健やかに育むことができる質の高い子育て環境の提供 c お父さんお母さんサポートによる家庭教育の充実 d 結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援</p>	<p>◆基本目標② 将来の町を支える子ども世代への投資</p> <p>a 子どもたちの町への愛着を高める</p> 
連携・安全安心・その他	<p>◆基本目標① 家族が安心して過ごせる町づくり</p> <p>a 子どもが安全に安心して充実した生活を送れる町づくり b コンパクトな中心部と小さな拠点の連携した市街地構造 c 家族の安全な暮らしを支える高齢者へのサポート</p>	<p>◆基本目標② 町の資源や技術を幅広く活用する町外への展開</p> <p>a 町外の団体・組織・周辺自治体と連携した取り組み</p> 

(※2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



住み続けたいまちをめざして

住み続けたいまち 「やまのべ」を創るために

～ “第2期やまのべ総合戦略” を策定しました～

政策推進課 総合戦略係 ☎（667）1110



町では、平成27年に、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示する「やまのべ人口ビジョン」と、同ビジョンを踏まえ5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「やまのべ総合戦略」を策定し、地方創生の取り組みを進めてきました。

このたび、さらなる地方創生の充実に向けた切れ目ない取り組みを進めるため、「第2期やまのべ総合戦略」を策定しました。

策定にあたっては、産業、教育、金融機関などの各業界で活躍する有識者で構成した“有識者会議”、若者アンケートとして県立山辺高等学校のみなさんにご意見をいただきました。さらには、パブリックコメントの募集を行い、町民のみなさんの参画を得ながら進めてきました。ここでは、本町における人口の将来展望や、本計画の内容を紹介します。

やまのべ人口ビジョン

「人口ビジョン」とは、町における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の展望を示すものです。

国立社会保障・人口問題研究所（略称・社人研）の将来推計人口によれば、2060年には7,106人までに落ち込むと推計されていますが、町では、①合計特殊出生率の向上（現在1.42⇒2025年に1.6）と②新規転入世帯の増加および転出人口の抑制（毎年1世帯ずつの増加）を目標とし、10,506人を目指します。

※合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に産む子どもの数の推計値です。



〈新型コロナウイルス感染症関連情報〉

山辺町新型コロナウイルス感染症対策本部から

村山地方で新型コロナウイルス感染症の罹患者が確認されたことを受け、町関連施設（町内各公民館、コミュニティセンター、図書館、ふるさと資料館、あがらっしゃい、町体育施設など）の利用については、5月6日（水・振替休日）まで休止します。状況によっては、利用休止期間が延長となる場合もあります。

また、各地区の会合やイベントなどについては、「中止」または「延期」のご協力をお願いします。

問合せ 防災対策課 危機管理係
☎（667）1119

高齢者のみなさんへ 外出控えによる「生活不活発」に 気をつけましょう

新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えがちですが、特に高齢者の方は、動かないこと（生活不活発）による身体や頭の動きの低下が心配されます。例えば2週間の寝たきりの場合、7年間の筋肉量が失われるともいわれ、体の抵抗力が下がると感染症も重症化しやすくなります。生活不活発を防ぐため、適度に体を動かすことを心がけましょう。

問合せ 保健福祉課 介護支援係
☎（667）1107



感染症の予防として、手洗い・うがい、アルコール製剤などによる手指消毒をこまめに行いましょう。咳やくしゃみが出る時は、マスクやティッシュ、ハンカチで口や鼻をおさえるなど、咳エチケットを心がけましょう。

新しいマイスターを紹介します

政策推進課 情報統計係 ☎（667）1110

さまざまな分野ですぐれた知識や技術を持っている方を、山辺マイスターとして登録している『山辺町人材バンク』。新たに登録された黒田由樹さん（緑ヶ丘5）を紹介します。

※人材バンクに登録されている方の指導を希望される場合は、政策推進課情報統計係にお申し込みください。

氏名：黒田由樹さん

指導内容：親子のコミュニケーション教室、産前・産後のママのメンタルを整えた子育てのよりよい環境づくり



山形連携中枢都市圏の連携事業がスタート

生き生きと暮らせる魅力ある圏域づくりへ

政策推進課 総合戦略係 ☎（667）1110

山形市と近隣5市6町（寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町）で形成する山形連携中枢都市圏では、令和2年度から連携事業を開始しています。東北で一番元気なエリアの実現に向け、各市町の強みを取り入れ、たえず内容の向上を図りながら連携事業を推進していきます。

山形連携中枢都市圏の目指す将来像

- 誰もが安心して快適に暮らせる圏域
- ゆとりや心の豊かさにあふれた圏域
- 夢と希望をもって、生き生きと暮らせる圏域



「山形連携中枢都市圏ビジョン」で掲げる33の連携事業を推進

1月に締結した連携協約に基づき山形連携中枢都市圏での連携事業を開始するにあたり、圏域の将来像や具体的な連携事業などを定めるため、山形市が中心となり2月20日に「山形連携中枢都市圏ビジョン」を策定しました。

圏域の将来像については上記のとおり、住民一人ひとりの暮らしを支える目標を掲げ、それによって実現を目指す人口目標として、圏域全体で50万人を維持する目標を定めました。

また、具体的な連携事業として、特産品の販路拡大などを図る経済成長の分野、市町をまたぐ公共交通のあり方の検討などを行う都市機能の分野、移住・定住促進のための共同での情報発信などを行う生活関連サービスの分野といった形で、3つの大きな分野にわたる計33の連携事業を掲げています。

連携事業による着実な成果を

連携事業を推進するうえでその成果を把握し向上を図るため、ビジョンの中で、連携事業の分野ごとに成果指標（KPI）を設定しています。

経済成長の分野では、圏域の雇用や生産額、観光客数に加え、移住の手前の部分での地方と人のつながりをとらえた「関係人口」の拡大を図ります。都市機能の分野では公共交通の利用者拡大に加え、要介護度の観点から健康で自立した生活を送れる人の増加を目指します。また、生活関連サービスの分野では、圏域全体として転入者を増やして転出者を減らし、大学生・高校生の圏域への定着に向けて取り組んでいきます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

町職員の人事異動



4月1日付けの発令で、異動した町職員をお知らせします。カッコ内は旧所属となります。なお、所属変更の伴わない昇任者は省略しています（課長・室長・係長職への昇任者を除く）。

【総務課】

作谷沢支所長・中川希樹（産業課）、高橋桃佳（新採）

【町民生活課】

住民係長・峯田幸子（総務課）、生活環境係長・鎌上寛史（農業委員会事務局農地係長）、後藤智宣（産業課）

【産業課】

産業課長（併任）農業委員会事務局長・佐藤英敏（教育委員会事務局教育課長）、農政係長兼担い手支援係長・平英二（教育委員会事務局教育課社会教育係長）、青木稔（建設課）、多田悠人（新採）

【防災対策課】

防災対策課長・佐藤竜（政策推進課長兼行財政改革推進室長）

【保健福祉課】

主幹兼福祉係長・遠山進（保健福祉課福祉係長）、主幹兼介護保険係長・川口美佐紀（保健福祉課介護保険係長）、子育て支援係長・高橋敦子（税務課町民係長）、酒井知沙（新採）

【建設課】

管理用地係長・半田裕美（町民生活課）、道路河川係長・長谷川友浩（建設課管理用地係長兼道路河川係長）、鈴木賢一（教育委員会事務局教育課）、日塔美咲（新採）

【政策推進課】

政策推進課長兼行財政改革推進室長・渡辺浩樹（議会事務局局長）、三浦龍典（教育委員会事務局教育課）

【議会議務局】

議会議務局長・鈴木司（議会議務局長兼議事係長）、議事係長・後藤忠秀（町民生活課生活環境係長）

【税務課】

町民税係長・鈴木敦（保健福祉課）、固定資産税係長・広谷知行（作谷沢支所長）

【農業委員会事務局】

主幹兼農地係長・木村ひろみ（町民生活課住民係長）

【退職者】3月31日付け

吉田郁男（産業課長（併任）農業委員会事務局局長）、村山幸一（防災対策課長）、鈴木義彦（教育委員会事務局教育課主任指導主事）、多田由美子（税務課固定資産税係長）

1年間よろしくお祈りします

令和2年度 地区委員のみなさんです

（敬称略）

《中央ブロック》

本町 川口 聡
駅前 渡辺 秀人
仲町 佐竹 武博
大手町 鎌戸 雅之
弾正淵 相沢 秀則
下裏小路 馳尾 順一
東館 荒木 泰助
上裏小路 長岡 強
前小路 庄司 三紀夫
西館 三浦 健司
前ノ内 開沼 忠志
西町 樋口 由行
北ノ宿 高橋 新一郎
上野 安達 光夫
上宿 渡辺 浩一
上田小路 井上 久司

《東部ブロック》

大門町1 武田 稔
大門町2 渡辺 裕人
大門町3 後藤 仁
大門町4 垂石 久一
大門町5 村山 隆之
大門町6 山川 雄二
大門町7 矢作 慎司
大門東光台 遠藤 聡

《南部ブロック》

長嶋1 吉田 勉
長嶋2 飛塚 光男
長嶋3 山口 忠士
沢寺 笠原 幸助

《田中》

野口 正義
大内 正吉
武田 開
星川 清則
村山 正敏
垂石 豊太郎
樋口 祐七
武田 信利
小野 巳年男
長岡 庄一郎
鈴木 宏幸
高内 良助

《北部ブロック》

東町 阿部 直彦
東高橋 稲村 和博
高橋1 長岡 智
高橋2 桜井 友広
西高橋 石川 幸生
芦沢 佐藤 富雄

《緑ヶ丘ブロック》

緑ヶ丘2 八木 将幸
緑ヶ丘3 長谷川 好宏
緑ヶ丘4 斎藤 大介
緑ヶ丘5 村山 修
緑ヶ丘6 呉本 晃章

《大寺ブロック》

西之表 原田 光章
天神 大場 忠美
橋本 多田 俊見
学校前 日下部 一之

《久保》

杉坂 雄一
多田 孝
武田 隆幸
武田 美夫
森谷 正彦
広谷 信弥
菅井 康博
日野 秀人
峯田 敏幸
鈴木 清

《中ブロック》

武田 二男
稲村 正志
奥山 健悦
村山 道雄
遠藤 傳七
峯田 和雄
面白遅根 峯田 正吉

《作谷沢ブロック》

長岡 義弘
樋口 總一
樋口 高志
渡辺 政広
佐藤 政克
伊藤 英助
遠藤 長治
峯田 芳丸
伊藤 和代
吉田 正志
吉田 清兵衛

《久保》

杉坂 雄一
多田 孝
武田 隆幸
武田 美夫
森谷 正彦
広谷 信弥
菅井 康博
日野 秀人
峯田 敏幸
鈴木 清

《相模ブロック》

根際1 鈴木 佳宏
根際2 吉田 孝司
根際3 吉田 千代松
根際4 鈴木 力
根際5 飯野 武雄
根際6 鈴木 知義
根際7 今野 正樹
根際8 阿部 準一

《近江ブロック》

近江1 高石 満
近江2 斎藤 真一
近江3 榎木 徳雄
近江4 高橋 徹
近江5 斎藤 昭彦
近江6 佐々木 孝史
近江7 有間 良雄
近江8 井上 隆
近江9 石倉 幸樹



安達峰一郎奨学賞に渡辺莉帆さん 安達峰一郎奨励賞に斎藤大輝さん

世界の良心と称えられ、国際連盟の常設国際司法裁判所長をつとめた郷土の偉人、安達峰一郎法学博士を記念して創設された安達峰一郎奨学賞。町内の中学校で学業成績が顕著であり、かつ心身ともに健康な生徒に一層の奨学向上を図る目的で、安達峰一郎記念財団より毎年1人に贈られています。令和元年度は、山辺中学校の渡辺莉帆さん（東町）に授与されました。また、安達峰一郎博士顕彰会より安達峰一郎奨励賞が同校の斎藤大輝さん（近江9）に授与されました。



奨学賞、奨励賞ともに3月16日に挙行された山辺中学校卒業証書授与式に先立ち、表彰状が授与されました。写真は、表彰状を受け取る渡辺莉帆さん（写真左）と斎藤大輝さん（写真右）

町立小・中学校卒業式 次のステップへ一歩前進

町内の小・中学校の卒業証書授与式が3月16日から18日にかけて行われ、児童・生徒たちが思い出のつまった母校との別れを惜しみました。

令和元年度の卒業生は、小学生140人、中学生118人。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての実施となりましたが、卒業生たちは、お世話になった先生や友人たち、保護者のみなさんへの感謝の気持ちと、学校生活で培った多くの思い出を胸に、慣れ親しんだ学び舎を後にしました。



校長先生から卒業証書を受け取る卒業生（写真は山辺中学校卒業証書授与式）

ゆりかご幼稚園 エコキャップを集めよう！

3月5日、ゆりかご幼稚園の5歳児の子どもたちが、エコキャップ推進運動に取り組む山形銀行山辺支店に16,000個のペットボトルキャップを届けました。

JRC活動の一環として、「ペットボトルキャップをワクチンに変えて困っている人を助けたい」との思いから、昨年6月からキャップの回収を開始。子どもたち手作りの啓発ポスターを園内に掲示するなどして、他のクラスや各家庭への協力を呼びかけてきました。

16,000個のペットボトルキャップで、20人分のポリオワクチンが買えるといわれています。

ポスターを作って
知らせよう！



みんなで集めたキャップを山形銀行山辺支店に届けました

災害時における地図製品等の供給等に関する協定



協定先：株式会社ゼンリン
締結日：3月12日
協定内容：ゼンリン住宅地図や広域図、住宅地図インターネットサービスの無償提供

各協定を締結しました

町は、災害時や地域づくり、暮らしなどの多方面において、町民サービス向上のために各協定を締結しました。



指定管理施設における災害対応への支援に関する協定



協定先：株式会社パストラボ
締結日：3月12日
協定内容：指定避難所として指定する指定管理施設における災害対応への支援

災害時等におけるタクシーによる緊急輸送に関する協定



協定先：山辺観光タクシー株式会社
締結日：3月12日
協定内容：災害時の被災者や救援者、ボランティアなどのタクシーによる緊急輸送および物資や資機材などの輸送業務

東北芸術工科大学、山辺町、株式会社パストラボとの包括連携に関する協定



協定先：東北芸術工科大学、株式会社パストラボ
締結日：3月12日
協定内容：町の体育施設を活用した地域づくりやスポーツと芸術の振興などを通じた新たな価値の創造

山辺町と日本郵便株式会社との包括連携協定



協定先：日本郵便株式会社
締結日：3月24日
協定内容：町と郵便局が連携し相互の資源を有効に活用しながら、町民の安心・安全な暮らしにつなげる

お知らせ

INFORMATION

山辺町子ども・子育て支援推進 会議の委員を募集します

町では、「第二期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援事業を実施しています。事業の推進に向け、一緒に話し合ってください。公募委員を募集します。

募集人数／若干名
任期／2年
会議／年1〜2回程度
委員報酬／3,400円（会議出席時）

応募方法／応募用紙に必要事項を記入し、保健福祉課（役場1階②番窓口）に持参または郵送で提出してください。応募用紙は保健福祉課で配布するほか、町ホームページからもダウンロードできます。

応募期限／5月15日（金）必着

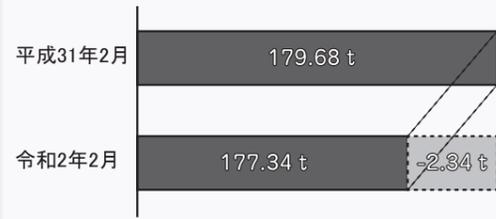
応募・問合せ
保健福祉課子育て支援係
☎（667）1107

みんなでごみを減らしましょう！

町民生活課 生活環境係
☎（667）1109

2月は前年同月より、もやせるごみの量が減りました。分ければ“資源”、まぜれば“ごみ”です。ごみの分別と削減に努めましょう。

【令和2年2月のもやせるごみ量】



※平成31年2月との比較：-2.34t
（家庭系：-2.01t、事業系：-0.33t）

個人番号の記入が必要ですが 軽自動車税（種別割） の減免申請について

障がい者の方が所有する車を本人が運転する場合や、障がい者の方のために生計をともにしている方が運転する場合は、定められた期限内に申請することにより軽自動車税（種別割）の減免を受けることができます。

※令和元年10月より軽自動車税は、軽自動車税種別割に名称が変わりました。

減免台数／1人につき1台

※自動車税の障がい者減免との重複はできません。また、障がいの内容や等級によって該当しない場合もあります。

車検証の名義人／障がいのある方ご本人の名義に限り、ます（18歳未満の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者）の場合はご家族の方の名義でも対象となる場合があります（申請期間／納税通知書が届いてから4月23日（木）まで）

持ち物／身体障害者手帳など、

4月30日（木）以降に 車検を受ける方へ

4月30日（木）以降の軽自動車の車検（継続検査）には、令和2年度の軽自動車税（種別割）納税証明書が必要となります。令和元年度の納税証明書はお使いになれませんのでご注意ください。

なお、口座振替をご利用の方には、役場から納税証明書を送付します。納付確認後に発送（5月12日ごろを予定）しますので、ご了承ください。

問合せ
税務課収納対策室収納管理係
☎（667）1105

住宅リフォーム工事に 補助金を交付します

地域経済の活性化と町民の住環境の質の向上を図るため、住宅のリフォーム工事（山形県住宅リフォーム総合支援事業に適合するもの）に対し、補助金を交付します。

申請などで不明な点がありましたら、着工前にご相談ください。

申請要件／次の①と②の両方の要件に該当すること

① 工事業件

- ・ 町内に自らが所有し、自ら居住する住宅（店舗などの併用住宅の場合、住宅部分のみ対象）のリフォーム工事
- ・ 減災・部分補強、バリアフリー化、寒さ対策・断熱化、一定量以上の県産木材利用、克雪化などのいずれかの内容が、町の定める基準点10点以上（工事費が50万円未満の場合は5点以上）となる工事

・ 県内に本店がある事業所、または県内に住所がある個人事業主が施工すること

② 対象者要件

- ・ 令和3年1月29日（金）までに完了届を提出できること
- ・ 諸税などの滞納がないこと

補助内容／

【一般型の場合】

- ・ 工事費用の10%以内、上限12万円
- ・ ※三世帯世帯、近居世帯、新婚世帯、多子世帯施工の場合は、補助率を20%としたうえ、補助上限額が30万円となります。

【移住型の場合】

- ・ 工事費用の20%以内、上限30万円
- ・ ※新婚世帯、多子世帯施工の場合は、補助率を30%としたうえ、補助上限額が40万円となります。

※県産木材を3㎡以上使用する工事または空き家を利活用する場合は、補助上限額を10万円（一般型で世帯要件に該当しない方は18万円）上乘せします。

募集期間／4月20日（月）〜9月30日（水）

※募集期間内での先着順です。

注意点／

- ・ 予算額が上限に達した場合

住宅の増改築工事に 補助金を交付します

は、募集期間内であっても終了となります。

- ・ 介護保険からの給付、町のほかの補助制度（利子補給制度を含む）は併用できません。
- ・ すでに着工、または完了している工事は対象外です。
- ・ 着工は補助金交付決定通知日以降となります。

申請・問合せ
建設課管理用地係
☎（667）1113

住宅の増改築工事に 補助金を交付決定通知日

町内の業者や個人事業主と請負契約し施工する住宅や附属建築物の増改築、改修工事に対し、補助金を交付します。

補助対象の可否および申請など不明な点がありましたら、着工前にご相談ください。

申請要件／次の①と②の両方の要件に該当すること

① 工事業件

- ・ 町内に自らが所有し、居住する住宅（店舗などの併用住宅の場合、住宅部分のみ対象）、

附属建築物（車庫、小屋などで基礎構造を有するもの）の増改築、改修工事

- ・ 町内に住所を有する業者が施工すること

② 対象者要件

- ・ 令和3年1月29日（金）までに完了届を提出できること
- ・ 諸税などの滞納がないこと

補助内容／工事費用の10%以内、上限12万円

募集期間／4月20日（月）〜5月29日（金）

※予算を超える申し込みがあった場合は抽選で選考し、決定者には、6月中旬に通知書を送付します。

補助金交付決定通知日／6月5日（金）（予定）

注意点／

- ・ 介護保険からの給付、町のほかの補助制度（利子補給制度を含む）は併用できません。
- ・ すでに着工、または完了している工事は対象外です。
- ・ 着工は補助金交付決定通知日以降となります。

申請・問合せ
建設課管理用地係
☎（667）1113

【おわびと訂正】

4月1日発行「お知らせ版」5ページ「いきいき教室」で記載内容に誤りがありました。深くおわびして次のように訂正します。

▼包括ケア推進室 電話番号
（正）☎（666）6565 （誤）☎（665）6565

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、掲載したイベントなどは中止または変更となる場合があります。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

結婚相談会、を実施します

「やまがた縁結びたい」による「結婚相談会」を開催します。

日時／4月19日(日)、5月17日(日) 両日とも午後1時～4時45分

場所／山形県職員会館「あこや会館」

対象者／結婚を希望する方(本人が出席できない場合は親御さんでも可)

内容／出会いの機会、お見合い相手の紹介などの相談

相談料／無料

相談担当／山形市、天童市、山辺町、中山町在住の「やまがた縁結びたい」メンバー

申込み方法／電話またはFAXで開催日の2日前までにお申し込みください。

申込み・問合せ
やまがた出会いサポートセンター事務所
☎(615) 8755
FAX(665) 5498

お知らせ インフォメーション

コミュニティ助成事業の募集について

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの収益を財源に、社会貢献広報事業として、コミュニティ助成事業を実施しています。

この事業は、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに対して助成を行うことで、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることと、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としています。

令和3年度に事業の活用を希望する団体は、8月末までに政策推進課総合戦略係にご相談ください。

助成対象団体／町内会などの町が認めるコミュニティ組織(規約・会則あり)

※団体からの申請内容について、県や自治総合センターにて厳正に審査されますので、申請したとしても必ず採択されるとは限りません。

問合せ
政策推進課総合戦略係
☎(667) 1110

消費生活の窓口から生活情報
株式会社大沼の商品券をお持ちの方へお知らせ

株式会社大沼が発行した商品券(全国百貨店共通商品券、大沼商品券、ワイシャツ御仕立券、オーダーワイシャツお仕立券)をお持ちの方は、資金決済に関する法律に基づき同社が供託している発行保証金から還付を受けることができます。

申出最終期限／6月12日(金)(当日消印有効)

申出書／東北財務局ホームページ(<http://tohoku.mof.go.jp/>)からダウンロードできるほか、消費生活相談窓口(役場2階政策推進課)にも申出書の備え付けがあります。

詳細・問合せ
東北財務局 理財部 金融監督第三課
☎022(263) 1111

登録制メール(登録サイトアドレス) 一度の登録で、町の災害情報などをメールで入手できます。(登録時、メール受信時などに発生する通信料は、登録した方の負担となります。)

登録サイトアドレス(PC)	https://service.sugumail.com/yamanobe/member/
登録サイトアドレス(携帯・スマートフォン)	https://service.sugumail.com/yamanobe/ ※右のQRコードをご利用ください。



防災放送自動音声応答電話番号 ☎(629) 0011 毎月1日の午後7時にサイレンが鳴ります

空き家所有者の相続・売却・解体費用などについての無料相談

日時／随時開催中(要予約)

場所／全日本不動産協会山形県支部

問合せ
全日本不動産協会山形県本部
☎(642) 6658

時間／午後1時30分～午後3時
参加費／1,500円(全13回)
申込み期限／5月12日(火)

【東部公民館】
開催日／5月22日～11月20日(月2回・金曜日)

時間／午後1時30分～午後3時
参加費／1,500円(全13回)
申込み期限／5月15日(金)

※そのほかの公民館での教室は、今後も広報紙でお知らせします。

みんなで楽しく健康教室！
いきいき教室

みんなで楽しく体を動かしてみませんか？元気に自分らしく、いきいきと自立した生活を送るための教室です。タオルやボールを使いゲーム感覚で行う体操、音楽に合わせて体操など、ワイワイと体を動かし汗を流しましょう。

対象者／おおむね65歳以上の方

服装／動きやすい服装

持ち物／水分補給のための飲み物、タオル、運動靴

【北部公民館】
開催日／5月19日～12月1日(月2回・火曜日)

申込み・問合せ
山辺町包括ケア推進室(地域包括支援センター内)
☎(666) 6565
山辺北部公民館
☎(667) 0551
山辺東部公民館
☎(664) 6004



【広告】

あかるく、つよく、礼儀正しい子に!! 生徒募集

極真カラテ田畑道場 山辺・大江・中山教室

場所 山辺町民総合体育館内(毎週火曜日)

時間 午後6時45分～7時45分(幼・少年クラス)
午後7時50分～8時20分(少年チャンピオンクラス) ※2名の道場生が世界大会で優勝しています!

無料体験会実施中!
お問い合わせ: ☎090-4478-5338 (代表:長岡)

つくってみよう!マイナンバーカード

身分証明書として使えるほか、今後ますます活用が広がるマイナンバーカードをつくってみませんか?

▽カード交付について
町民生活課住民係 ☎(667) 1109

▽マイナンバーについて
総合フリーダイヤル ☎0120-95-0178 ↑申請方法

【広告】

地元職人による完全自社施工の職人専門店
外壁・屋根 すべて手塗り

見積り無料 ☎023-664-5468
<http://www.tobitsuka-nuriya.com> 有限会社 飛塚塗装店

【広告】

会員募集中 シルバー人材センターで仕事や仲間
生きがいを見つけてみませんか

◆会員の入会条件は
1.山辺町にお住いの60歳以上の方。2.健康で働く意欲のある方。
3.入会希望者説明会を受け申し込みされた方。

◆事務所までお気軽にお越しください。
公益社団法人 山辺町シルバー人材センター ☎023-667-1055

役場庁舎のご案内

役場庁舎のそれぞれの課・係の配置図です。内容については、令和2年4月1日現在のものとなります。年度途中に変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。
(※外部施設などについては省略しています。)

3階

議会事務局

☎ (667) 1117
事務局長 鈴木司
議事係 係長 後藤忠秀

2階

防災対策課

☎ (667) 1119
課長 佐藤竜
危機管理係 係長 三部洋
防災減災推進係 係長 秋葉雅司
寺嶋政之 長岡憲吾

教育委員会 教育課

☎ (667) 1115
課長 武田紀子 主任指導主事 飛塚健史
総務係 係長 渡辺利弘 荒木佳範 菅原西
学校教育係 係長 後藤美希 元木英二
社会体育係 係長 田中英樹

総務課

☎ (667) 1111
課長 佐藤正彰
庶務係 係長 川口崇
財政管理係 係長 岩城真也
財産管理係 係長 牧野友裕
長瀬司 鈴木美郷
中川輝宣 渡辺愛美
高橋桃佳 門脇達也
安孫子正治

政策推進課

☎ (667) 1110
課長 渡辺浩樹
総合戦略係 係長 鈴木宏美
情報統計係 係長 多田博
佐藤義朗 山口嘉講
三浦龍典 武田洋明
西山佳絵
行財政改革推進室
行革推進係 係長 北條智洋
後藤和幸

建設課

☎ (667) 1113
課長 高橋新也
管理用地係 係長 半田裕美
道路河川係 係長 長谷川友浩
都市整備係 係長 菱沼敏幸
下水道係 係長 長岡康一
齋藤雅和 酒井佑太 会田宗広
笹原翔太 伊藤俊輔 笹原榮
日塔美咲 稲村和博 鈴木賢一

税務課

☎ (667) 1105
課長 長岡恒多夫
町民税係 係長 鈴木敦
固定資産税係 係長 広谷知行
安達裕明 山口智大
土田さやか 川口海
収納対策室
収納対策係 係長 三浦浩人
収納管理係 係長 細矢貴行
佐藤貴裕 武田志穂

産業課

☎ (667) 1106
課長 佐藤英敏
農政係 係長 平英二
担い手支援係 係長 平英二
農村整備係 係長 武田忍
商工観光係 係長 朽木良次
青木稔 三浦宏文
須藤由香奈 多田悠人

農業委員会事務局

☎ (667) 1114
事務局長 佐藤英敏
農地係 係長 木村ひろみ
木村健太

保健福祉課

☎ (667) 1107
課長 阿部孝之
福祉係 係長 遠山進
介護保険係 係長 川口美佐紀
子育て支援係 係長 高橋敦子
介護支援係 係長 安達久博
渡辺節子 小野裕子
笹原章裕 三浦愛未
半田茜 田中絵美
伊藤武紘 酒井知沙

町民生活課

☎ (667) 1109
課長 高内浩子
住民係 係長 峯田幸子
生活環境係 係長 鎌上寛史
国保医療係 係長 渡辺純永
高橋直之 後藤智宣
後藤由貴 鈴木将太
鈴木友介 佐藤初音
山川花奈

④番窓口

③番窓口

②番窓口

①番窓口

会計課 ☎ (667) 1104

課長 長岡恒多夫
課長補佐 須貝真由美 会計係 係長 大山静香

1階

ロビー

入口

●人のうごき (令和2年4月1日現在) ※ () 内は前月からの増減

人口14,157人 (-17) 【男6,900人 (-7) 女7,257人 (-10)】 世帯数4,838 (-1) 出生4人 死亡19人 転入83人 転出85人